



	タイトル	著者名	おすすめ文
1	ぼくのエジャースプーン	辻村深月	命の重さ、相手を想う気持ち、言葉の大切さなど…考えさせられる本です！
2	ツナグ	辻村深月	
3	凍りのクジラ	辻村深月	
4	植物図鑑	有川浩	何度読んでも心温まる一冊です！
5	県庁おもてなし課	有川浩	
6	猫旅レポート	有川浩	
7	告白	湊かなえ	読めば読むほど引き込まれてあっさり読めます！衝撃的な復讐劇に注目です！！
8	夜行観覧車	湊かなえ	
9	高校入試	湊かなえ	高校入試に脅迫状。短い区切りで、それぞれ登場人物の視点で進んでいるのが良い。人生における大きな分岐点の話なのでサクサク読めると思います！
10	対岸の彼女	角田光代	交互に進んでいく二人の女性の物語に引き込まれていきます！！
11	キッチン	吉本ばなな	ふわふわした悲しみを描いています。キッチンを通して、身近にある「死」を考えさせられます。読後は心が癒される作品です。
12	哀しい予感	吉本ばなな	
13	Tugumi	吉本ばなな	
14	六番目の小夜子	恩田陸	学校で受け継がれる「小夜子」ゲームが6番目の年を舞台に物語が進行します。青春や、学校がもつ共同性、透明さが現れている作品です。
15	月の裏側	恩田陸	
16	ドミノ	恩田陸	
17	ユージニア	恩田陸	
18	アーモンド入りチョコレートのワルツ	森絵都	子供時代～少年時代に思いを馳せることができる、せつなくも、心が温まる短編集です。少年・少女時代を振り返って、感傷に浸ってみませんか？
19	カラフル	森絵都	
20	リズム	森絵都	
21	名画で読み解くブルボン王朝12の物語	中野京子	約250年の歴史を持つフランスのブルボン王朝。歴代の王・王妃達のあっと驚く物語を、歴史に精通した筆者が名画とともに紹介していきます。
22	青年のための読書クラブ	桜庭一樹	名門女子高にある読書クラブでは、100年に渡って学校の珍事件を記録していた。少し不思議な雰囲気のある連作短編です。
23	砂糖菓子の弾丸は打ちぬけない	桜庭一樹	
24	私の男	桜庭一樹	
25	アメリカの鏡・日本	ヘレン・ミアーズ 訳 伊藤延司	太平洋戦争から僅か3年後に出版された本。アメリカ人女性が、日本、そしてアメリカの戦争責任について分析していきます。



	タイトル	著者名	おすすめ文
26	逝かない身体：ALS的日常を生きる	川口有美子	難病ALSにより身体の機能が低下していく母と、母を死なせたいとすら思った娘（著者）の葛藤に胸を打たれました。
27	介護と恋愛	遙洋子	恋愛と介護にゆれながらも、最後に主人公の女優が下した決断がカッコ良かったです！
28	東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ	遙洋子	
29	がけっぶちナース	山内梨香	山内さんのタフさに胸が打たれました。
30	アサーション入門	平木典子	就職してからも生かして生きたいなあと思いました。
31	おしまいのデート	瀬尾まいこ	さまざまな形の”おしまいのデート”。切なくあたたかい気持ちにさせてくれます。
32	図書館の神様	瀬尾まいこ	
33	幸福な食卓	瀬尾まいこ	